

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
国語・言語文化		2	2	三省堂・新 言語文化
科目の概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。</li> <li>自ら学び自ら考える意欲を喚起して、主体的に生きてゆく力をはぐくみ、国語の力を育成する。</li> <li>言語事項を総合的に学習し、国語に関する知識を深めることにより、国語に対する関心を高め、国際社会に生きる国語の力を獲得させる。</li> </ul>		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	4 人の心は万華鏡 ・オムライス  ・十八史略「鶏口牛後／先従隗始」  ・平家物語「木曾の最期」  ・「詩に表す」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「本」を拾ったことをきっかけに、「男の子」がどのように変化したかを捉える。</li> <li>「鶏口」「牛後」が何をたとえているか、説明する。</li> <li>登場人物が比喩表現を使用した意図を考える。</li> <li>文章を音読し、大意を捉える。</li> <li>「義仲」「兼平」の人物像について考える。</li> <li>作品を読み、感想を発表する。効果的に伝わる語句や表現技法を用いながら、詩を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品や文章に表されているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解することができる。</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。</li> </ul>	
2 学期	5 共感海を越える ・漢詩四編  ・待ち伏せ  ・インタビュー『「人間」を描きたい』	<ul style="list-style-type: none"> <li>四編の漢詩の中から一編を選び感想や印象を文章にまとめる。</li> <li>文章中の表現をもとに、「私」の心情の変化を捉える。</li> <li>野村萬斎が海外公演を行う意図について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。</li> <li>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>言葉の働きや作品の内容を理解し、自分の考えをもつことができる。</li> </ul>	
3 学期	6 文学は主張する ・徒然草「神無月のころ／家居のつきづきしく」 ・なめとこ山の熊  ・論語八章  ・「随筆に表す」	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の考え方やものの見方について考える。</li> <li>登場人物の関係性と変化を捉える。</li> <li>好きな章を選び、その章が自分とどのように関わるか考える。</li> <li>作品を読み、その中から一つ選んで、書き写したり音読したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解することができる。</li> <li>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</li> </ul>	